

「(仮称)信州みちビジョン検討委員会」準備会での主な意見要旨 一覧表

No.	委員名	ご意見	基本方針への反映	主要施策への反映
1	河野委員	コンパクトなポイントとその周辺を、地域の実情に合わせて最適化できるのか	つなぐ	①コンパクトな拠点の整備支援 ②拠点間をつなぐネットワークの整備 ③地域の振興を支える道路整備
2	武者委員	ベーシックな地域像は、「コンパクト+ネットワーク」と「定住自立圏」だと思う。		
3	武者委員	観光・製造業・農業等において、道路はサポート的な役割がある。		
4	柄澤委員	道路整備によりアクセス性を向上させれば、地域振興に大きな効果がある。		
5	高瀬委員	「産業」や「観光」は、明確な整備達成基準がなく、やみくもに整備を進めても仕方がない。		
6	三井委員	地域性を考慮して道路整備していくことが重要であると思う。		
7	柄澤委員	やはり災害時や緊急時に利用する道路の整備が最も大事だと思う。	まもる	④災害に強い道路網の整備 ⑤安全安心な道路環境の整備
8	柄澤委員	高齢化社会の進行に伴う道路の安全性の確保も大切だと思う。		
9	河野委員	県内の人にすれば、「いかに快適・安全に暮らせるか」が重要になってくる		
10	河野委員	外国人を含め県外の人から、「景観をいかに壊さないようにするか」がニーズになる	いかす	⑦道路を活かした観光地域づくり ⑧誰もが移動しやすい交通環境の整備 ⑨快適なまちなか空間整備
11	河野委員	大型バスが通れないところが多く、整備の必要性は高いと思う。		
12	河野委員	周遊観光が少なく、道の駅が賑わいきれていない		
13	河野委員	観光については、2次交通網を整備し、周遊観光を促すことが重要		
14	河野委員	長野県は峠が多く観光地同士が分断されていることにより、周遊観光が少ない		
15	倉島委員	都市部では、渋滞によってバスの定時定路線が確保できてない現状にある。		
16	倉島委員	近年では、自転車が車道を走行するため、車道の走行に支障をきたしている。		
17	河野委員	観光客も高齢化し、公共交通へシフトするため、2次交通向けの道路整備がポイント		
18	倉島委員	高齢社会を支える上で、公共交通の定時定路線が全うできる道路整備を行ってほしい。		
19	柄澤委員	自動運転等、社会の変化に対応した道路整備が必要になってくると思う。		
20	武者委員	地方都市の街中の道路のあり方をしっかり考え直していくことが重要だと思う。	+ α	⑩施策の進め方等
21	柄澤委員	住民の意見を幅広く取り入れていくことは重要だと思う。		
22	三井委員	具体的なニーズを捉え、スピード感・優先順位を意識した方針を検討すべき		
23	高瀬委員	高度情報化等、社会情勢の変化を見据え、新たな視点を組み込んでいけたらよい	(前提)	補足資料参照(「総合計画審議会」資料) // 補足資料参照(「各種推計値」資料)
24	三井委員	30年後の社会が変化のイメージをもって、本ビジョンを策定することが必要		
25	河野委員	今から30年後の長野県の変化を想像した上で、最初のフレームを作った方がよい		
26	武者委員	維持管理費等のコストや自動車保有台数等に関係推計値はあるのか教えてほしい。		(今後検討)
27	高瀬委員	全体の整備水準を上げるのか、箇所を絞って整備するのか、考えなければいけない。		
28	柄澤委員	長野県らしさを大切にすることが必要	(後述)	//